

議 事 録

件 名	令和 7 年度第 2 回大網白里市環境審議会
日 時	令和 8 年 3 月 2 7 日（金） 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0
場 所	大網白里市中央公民館 1 階 講義室
出席委員	【委員】岩崎寛、内山佐智子、内山秀星、島津諭、久我一雄、木田進、 恵藤幸久（以下：委）
欠席委員	上田弘子、小栗山喜一郎、秋葉健
事 務 局	地域づくり課 石井課長、内山班長、鶴岡副主査、宮本副主査（以下：事）
配付資料	別添のとおり
内 容	<p>【1. 委嘱状交付】 新たな任期に伴う委嘱状の交付</p> <p>【2. 会長・副会長の選任】 委員の互選により、以下の通り選任された。 会長：岩崎寛委員 副会長：内山佐智子委員</p> <p>【3. 会長挨拶】</p> <p>【4. 開会】 進行：事務局</p> <p>【5. 議題】</p> <p>（1）次期環境基本計画策定に伴うスケジュールについて 事務局から、次期環境基本計画の策定工程について資料 1 に基づき説明。 ※令和 8 年 12 月に予定されている市長選挙の影響で、後半の審議会日程が前倒しになる可能性があることを補足。</p> <p>（2）大網白里市環境基本計画に基づく取組の実施状況について 前回（令和 7 年 9 月）の審議会で、委員から「D 評価」を受けた行政施策評価の再点検結果について資料 2-1、資料 2-2 に基づき報告。 （質疑応答） （委）：生ごみ堆肥化装置の補助について、従来の「コンポスト」以外に「電動処理機」も対象に含まれるか。名称の具体化を求める。 （事）：補助対象にはコンポスト、電動式、EM 菌活用型、剪定枝破碎機の 4 種が含まれている。周知の際は、より具体的な名称を検討したい。 （委）：雨水貯留槽の設置検討について、回答が「本庁舎」に限定されている。保健センターや公民館など、他の公共施設も対象に広げられないか。 （事）：現行計画の目標値が本庁舎であったためだが、委員の指摘どおり、次期計画に向けて他施設への拡大を庁内で調整し、バランスを見て検討したい。 （委）：情報発信の効果について、各課が SNS やアンケートを活用している</p>

が、その知見は庁内で共有されているのか。何が一番市民に届くかという共通認識が重要と考える。

(事)：現時点では担当課ごとの把握に留まっており、統一的な共有はなされていない。広報媒体の効果的な活用について庁内共有の在り方を考えたい。

(委)：雨水貯留について、単なるタンク設置だけでなく、緑を活用した「雨庭（あめにわ）」のようなグリーンインフラの視点も、大規模改修時に検討してはどうか。国の補助の対象となっている。

(事)：次期計画の策定過程で調査・検討したい。

(3) 市民アンケートの実施について

次期計画策定に向けた市民意識調査の実施案を資料3-1に基づき説明。

(報告・質疑応答)

(事)：電子アンケートを主軸とし、利便性向上と環境配慮（紙資源節約）を図る。ただし、回収率の向上を図るため、50歳以上の層には紙の回答用紙も郵送する。

なお、アンケートの内容については、前回の審議会で委員からの意見は無かった一方、庁内から意見が出たので、それを反映した形とした。

(委) 庁内の意見をどのように反映したのか。設問は増えたのか。

(事)：10年前の調査結果と比較（トラッキング）できるよう設問の継続性を維持しつつ、性別選択肢の多様性配慮や、質問の表現の変更がメインである。

(委)：アンケートの実施にあたり、目的外利用の禁止等を明記し、市民が安心して回答できる工夫をしてほしい。

(事) 承知した。

(4) その他

(委)：これまでの10年間の評価と課題を一度振り返って整理してほしい。

特に目標値の根拠を明確にし、第6次総合計画との整合性を保ちながら次期計画を策定してもらいたい。

(事)：委員の指摘どおり、過去の推移を振り返り、具体的な根拠に基づいた次期目標の設定を行っていききたい。また、次回（7月実施予定）の審議会では次期計画の「諮問」を行う予定である。

(5) 閉会